

横浜市野島青少年研修センター 令和2年度事業報告

1 体験活動を支援する事業

2019年度末から拡大した新型コロナウイルスの影響で4月5月は臨時休館となり、再開した6月以降、上半期の学校利用はなく一般団体も数団体に留まるなど過去に例を見ない状況が続きました。人との接触や密集を避けることが社会全体で求められるなか、研修センターでは、利用してもらうために学校向けの事前説明会で配付していた利用申請書類や体験プログラム関係資料などをHPから入手できるよう手続きの簡便化を図ると共に、体験プログラムは感染リスクを考慮して提供内容を絞るなど対策を講じながらも、少しでも多くの体験活動ができるようにしました。

施設・設備では、定員制限、館内消毒作業、非接触体温計・消毒アルコール設置、食堂テーブル飛散防止パネル設置、客室用空気清浄機設置など徹底した感染拡大防止に取り組むなど、団体の利用と活動の支援、および多様な体験プログラムの提供を行えるよう努めました。

利用促進では、臨時休館後の利用回復を目的として、施設PRのDMを昨年度利用団体へ送付しました。また、施設の安全対策や利用者の利便性向上をPRするため、HPに施設の感染拡大防止対策を表示したほか、入所案内・避難経路案内等の動画を作成し配信し、利用回復に努めました。

利用団体数： 89件（宿泊利用：44件、日帰り利用：45件）

利用人数： 2,565人（宿泊利用：1,849人、日帰り利用：716人）

稼働率： 26.9%（30年度：87.2%）

利用団体前年度比：87%減

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用可能日数	利用日数	宿泊		日帰り		合計		稼働率
				団体	人数	団体	人数	団体	人数	
H27	360日	334日	268日	442件	20,206人	294件	11,032人	736件	31,238人	80.2%
H28	359日	333日	268日	423件	20,965人	221件	8,247人	644件	29,212人	80.5%
H29	359日	333日	278日	415件	21,438人	309件	13,309人	724件	34,747人	84.3%
H30	359日	331日	277日	466件	21,618人	349件	15,359人	815件	36,977人	83.7%
R元	339日	304日	265日	412件	21,298人	271件	12,161人	683件	33,459人	87.2%
R2	304日	265日	41日	44件	1,849人	45件	716人	89件	2,565人	26.9%

2 青少年を支える人材を育成する事業

青少年指導者・育成者を対象とした人材育成研修、ボランティア活動を通じた青少年の体験活動を支える人材育成、高校生以上の青少年を対象にした施設ボランティア「のじボラ」活動は、新型コロナウイルスの影響で大きく活動の場が制限されました。しかし、通常に近い形で活動ができた3ヶ月（9月～11月）を中心に、地域団体ボランティア延べ35人、青少年ボランティアはオンラインも含めて延べ51人に活動の場を提供し、体験活動を通じた人材の育成に取り組みました。

3 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

体験プログラムの提供では、新型コロナ感染拡大防止のため、厨房を活用した食育プログラムや一部の体験プログラムについて提供を中止しましたが、いかだ作り・カヌー・干潟観察、ビーチグラス、ビーチコーミングなど、施設特性や自然環境を活かした多様な体験プログラムが提供できました。また、感染拡大防止の観点から、参加者とソーシャルディスタンスを保ち、かつ事前学習として活用できるものとして、HPに体験プログラムの準備や手順を掲載した他、「ライフジャケットの着方」、「いかだ作り体験の手順」などの動画を作成・配信し、体験活動に役立つ情報の提供に取り組みました。

宿泊を伴うキャンプ事業は、感染拡大防止の観点で見合わせましたが、可能な限り青少年に体験機会の提供ができるよう日帰りの教室事業に注力しました。「カヌー体験教室」、「親子釣り教室」などの事業は、定員制限や家族単位での申込みに代える等、感染拡大防止に配慮することで実施しました。また、青少年への体験機会提供というだけでなく、外出自粛が続く社会全体に閉塞感が漂うなか、家族単位の体験活動をすることによって、親子共通の話題や思い出づくりとなり、家族の絆の深まりにつながればという意図も含めて実施しました。

困難を抱える青少年を対象とした活動の支援は共催団体と協議の上、中止としましたが、次年度以降の事業継続も確認することができ、引き続き、困難を抱える青少年への体験機会の提供について取り組んでいきたいと思っております。

青少年や研修センターの活動についての理解を深めていただくことを目的に実施している近隣町内会や地域住民との共催事業や防災の取り組みもコロナ禍で多くが中止となりました。しかし、こうした状況でも地域や団体と僅かであっても交流ができたことは、次年度以降の地域や団体との協力関係維持につながる取り組みになったと考えています。

《目標設定時公表項目》 横浜市野島青少年研修センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	青少年が安全に体験活動ができるよう、研修センターでの体験活動に役立つ情報を、SNSを活用して青少年団体や青少年育成団体に発信します。	①HPによる体験活動等に必要な情報の発信：海活動に適した服装・持ち物の案内 ②計測に基づく温度・風速、気象情報の提供およびアドバイスの件数：70件
業務運営	多くの青少年に体験をしてもらうため、青少年のニーズや年齢に応じた多種多様な体験活動を提供します。青少年育成に携わる地域人材を発掘するため、事業や体験プログラムで市民ボランティアや市民活動団体を積極的に受け入れます。	①施設利用者数：32,000人 (提案書最終年度目標 30,000人) ②体験プログラム参加者数：23,000人以上 (提案書最終年度目標 15,000人) ③宿泊体験キャンプ・教室参加者数：200人 ④事業および体験プログラムに参加した市民ボランティアや市民活動団体の人数：70人以上
職員育成	安全な施設管理、質の高い体験活動を目指し、各種研修に参加することで職員のスキルアップを図ります。	①防災・避難誘導訓練の実施：2回以上 ②救急法(AED等)の研修：1回 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加
財務	体験プログラムの提供数の増加による事業収入の増 事業における協賛団体の獲得	①事業収入 5,450万円 (提案書 2020年度予算 5,450万円) ②団体や企業からの協賛件数 5企業以上

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	青少年が安全に体験活動ができるよう、研修センターでの体験活動に役立つ情報を、SNSを活用して青少年団体や青少年育成団体に発信します。	①HPによる体験活動等に必要な情報の発信：海活動に適した服装・持ち物の案内 ②計測に基づく温度・風速、気象情報の提供およびアドバイスの件数：70件	①ライフジャケットの着方、入所案内、避難経路案内などの動画を作成・配信 ② 9件	② 61件減	体験活動の手順や周辺環境の紹介動画の配信を充実します。
業務運営	多くの青少年に体験をしてもらうため、青少年のニーズや年齢に応じた多種多様な体験活動を提供します。青少年育成に携わる地域人材を発掘するため、事業や体験プログラムで市民ボランティアや市民活動団体を積極的に受け入れます。	①施設利用者数：32,000人(提案書最終年度目標 30,000人) ②体験プログラム参加者数：23,000人以上(提案書最終年度目標 15,000人) ③宿泊体験キャンプ・教室参加者数：200人 ④事業および体験プログラムに参加した市民ボランティアや市民活動団体人数：70人以上	① 2,565人 ② 1,279人 ③ 40人 ④ 86人	① 29,435人減 ② 21,721人減 ③ 160人減 ④ 16人増	緊急事態宣言等が発出されると施設及び体験プログラム利用は大幅に減ってしまいが、体験活動の魅力や施設感染防止の取り組みを発信することで利用回復につなげます。

職員育成	安全な施設管理、質の高い体験活動を目指し、各種研修に参加することで職員のスキルアップを図ります。	①防災・避難誘導訓練の実施：2回以上 ②救急法（AED等）の研修：1回 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加	① 2回 ② 1回 ③ 1人平均2.8回（17回）	① 同数 ② 同数 ③ 同数	利用者安全のため、定期的に防災訓練を実施する他、効果的な体験活動を提供できるよう専門研修に参加します。
財務	体験プログラムの提供数の増加による事業収入の増事業における協賛団体の獲得	①事業収入5,450万円 ②団体や企業からの協賛件数 5企業以上	① 658,781円 ② 0件	① 53,841,219円減 ② 5件減	コロナ禍で体験事業・体験活動がほぼ中止となった。引き続き感染防止対策を講じながら安全・安心の体験活動が提供できるよう努めます。

1. 宿泊・日帰り利用状況

月	開館 日数	宿泊 可能 日数	宿泊 利用 日数	利用 日数	点検 日数
5	0	0	0	0	3
6	30	28	2	4	2
7	31	28	1	5	2
8	31	27	2	3	3
9	30	27	2	7	2
10	31	28	8	15	2
11	30	27	12	15	2
12	31	23	2	5	3
1	31	25	1	4	2
2	28	25	2	6	2
3	31	27	9	10	3
計	304	265	41	74	28

宿泊利用				日帰り利用			
団体数	利用人数			団体数	利用人数		
	男	女	計		男	女	計
0	0	0		0	0	0	
0	0	0		0	0	0	
2	23	19	42	2	10	5	15
1	15	14	29	5	6	5	11
2	31	26	57	2	3	7	10
2	42	42	84	6	9	10	19
8	318	311	629	12	227	194	421
13	355	325	680	4	5	53	58
2	26	16	42	3	6	52	58
1	9	5	14	3	2	5	7
2	8	21	29	4	24	23	47
11	117	126	243	4	0	70	70
44	944	905	1,849	45	292	424	716

合計			
団体数	利用人数		
	男	女	計
4	33	24	57
6	21	19	40
4	34	33	67
8	51	52	103
20	545	505	1,050
17	360	378	738
5	32	68	100
4	11	10	21
6	32	44	76
15	117	196	313
89	1,236	1,329	2,565

(1)保守管理業務

ア 建築物の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	点検実績
外部仕上げ	外壁、屋根、地面など	日常点検	毎日実施
内部仕上げ	壁面、天井、床など	日常点検	毎日実施

※点検内容：仕上げ材の浮き、ひび割れ、はがれ、かびの発生、美観の維持

イ 建築設備の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	協定書回数・頻度	点検実績	
空気調和 関連設備	空気調和機	定期 点検	月1回以上	12回	
	全熱交換機			12回	
	パッケージ型空調機			12回	
	ヒートポンプエアコン			12回	
	ファンコイルユニット			12回	
	空調換気扇			12回	
	その他ポンプ類			随時点検	
	冷却塔			使用期間中の5回	
	冷温水・冷却水ポンプ			12回	
	送・排風機			12回	
電気関連設備	受変電設備	定期 点検	週1回以上	毎週実施	
	配線設備（幹線・分電盤等）				
	負荷設備（制御盤・電動機等）				
	負荷設備（照明・コンセント等）				
	配線通信線路				
	構内交換設備				
	外灯設備				
	自家発電設備				
給排水衛生設備	受水槽・高置水槽	定期 点検	月1回以上	12回	
	揚水ポンプ・加圧給水装置			12回	
	給湯器・貯湯槽・熱交換器			12回	
	衛生器具類			12回	
その他の 設備管理	ガス設備	定期 点検	月1回以上	12回	
	消防設備			12回	
	自家用電気工作物			12回	
	中央監視装置			年2回以上	2回 5/28、11/26
	濾過装置			年4回以上	4回 6/5、9/25、12/4、3/25
	エレベータ設備			月1回以上	9回（1月～3月リニューアル工事）
	自動ドア設備			年3回以上	3回 5/11、9/15、1/12
環境衛生管理	空気環境測定	定期 点検	年6回以上	6回 5/26、7/8、9/8、 11/4、1/8、3/12	
	排ガス測定			年2回以上	2回 5/7、11/20

	水質検査	年2回以上	2回	7/21、1/26
	簡易専用水道検査	年1回以上	1回	8/7
	ねずみ・衛生害虫駆除	年2回以上	2回	9/11、3/3
	ダニ及び害虫駆除	年1回以上	2回	9/11、3/3
	受水槽清掃	年1回以上	1回	7/20
	雑排水槽清掃	年2回以上	2回	4/3、10/7
	汚水槽清掃	年2回以上	2回	4/3、10/7
	浴槽レジオネラ菌属検査	年2回以上	2回	8/17、3/29

ウ 備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績
備品の保守管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施

(2) 環境維持管理業務

ア 清掃業務

項目	対象・範囲	協定書の回数	実績
日常清掃業務	館内	1日2回以上 (場所による)	毎日2回以上実施
	公園及び側道	1日1回以上	毎日1回以上実施
定期清掃業務	床清掃(洗浄・ワックス清掃等)	月1回以上	12回
その他の清掃業務	カーペット清掃	年1回以上	2回 3/1・2
	窓枠・窓ガラス清掃	年4回以上	4回 6/1・2、9/7・8、 12/8、3/1・2
	網戸清掃	年1回	1回 2/1・2
	厨房ステンレス及びタイル壁 面清掃	年1回以上	1回 10/5・6
	照明器具及び給排気口清掃	年1回以上	1回 2/1・2
	ブラインド清掃	年1回以上	1回 1/12・13
厨房グラスフィルター清掃	年1回以上	4回 6/1・2、9/7・8、 12/8、3/1・2	

イ 保安警備業務

項目	対象・範囲	協定の内容	実績
有人警備	建物及び敷地内 (9:00～17:00)	研修センター内の秩序を維持し、火災等の災害や盗難、破壊等の犯罪の発生を警戒、防止し、来所者の安全をはかり、財産の保全をはかる。	開館日に実施
宿直警備	宿直日 (17:00～翌9:00)		宿泊利用日に実施
機械警備	非宿直日 (17:00～翌9:00)		非宿泊日に実施

(3) 施設保全業務

ア 小破修繕の実施

項目	実施	対象・範囲	内 容
機械	7/29	消防設備不良箇所	誘導灯LED、防火戸ラッチ交換
機械	8/27	浴槽濾過装置ポンプ	浴槽濾過装置ポンプ交換
機械	11/16	2階洋室南側系統エアコン圧縮機	2階洋室南側系統エアコン圧縮機交換
建築	3/5	第2研修室パーテーション	第2研修室パーテーション交換
電気	3/15	館内廊下電球	B1、1F、2F廊下LED交換
建築	3/17	駐車場ゲート	1F駐車場ゲート交換

A-あ 青少年活動を支援する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
施設・設備貸出事業					
宿泊利用団体受入れ	通年		利用料金	44 団体 1,849 人	昨年度 412 団体 21,298 人
日帰り利用団体受入れ	通年		利用料金	45 団体 716 人	昨年度 271 団体 12,161 人
一般団体抽選会	毎月第2日曜日	6回		34 団体	全て非公開
利用者アンケート	通年			39 件	
職員のスキルアップ・保全研修への参加					
新人職員研修	4/1,2	2回		1 人	当法人主催
コロナ状況下における青少年教育を 考えるオンラインフォーラム	5/21,22	2回		1 人	国立青少年教育振興 機構主催。オンライン
食育プログラム調理練習	6/12	1回		5 人	
カヌー指導者講習	7/15,16	2回		4 人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ協力
防災訓練	9/8	1回		全員	
乙舳・野島町合同防災訓練	10/12	中止			
リードアップセミナー	11/6, 11/13	2回		1 人	県立青少年センター
プロジェクトワイルド初級指導者資格取得講座	11/29	1回		2 人	県立青少年センター
全国青少年教育施設所長会議・施設研修集会	12/10, 12/11	2回		1 人	国立オリンピック記念青少年総合センター
避難誘導訓練	1/26	1回		全員	
人権研修	1/18, 1/29	2回		全員	当法人主催、オンライン
食品衛生責任者講習会	2/24	1回		1 人	横浜市食品衛生協会
傷病者、嘔吐発生時の対応	通年			随時	
①事前相談における丁寧な対応、柔軟なコーディネート					
利用相談業務 団体事前打合せ会	毎月第1～3土曜日	18回		29 団体	
学校体験学習事前打合せ会	通年	46回		54 校	下見含む
学校体験学習説明会	毎週2回	中止			
②利用者の利便性の向上のための物品販売					
物品販売	通年		50～700円	52 個	スリッパ、ろうそく、洗剤
③体験活動に役立つ情報の発信					
ライフジャケットの着方	通年				HP で動画配信
いかだ作り体験の手順	通年				HP で動画配信
気象データの計測・提供	通年	9回		9 校	海活動プログラム実施前
体験プログラムの手順データの送信	通年		—		希望団体へ随時送信
体験プログラム提供についての見直し	通年				実施時期・場所の設定他
④効率的な運営のための利用方法の改善					
入所案内動画の作成・配信	通年				HP で動画配信
避難経路案内動画の作成・配信	通年				HP で動画配信
非公開による利用抽選会の実施	一般：毎月第2日曜日 学校：10/16				
HPでの体験学習校利用申込みの受付	9～10月				HP で公開
利用手続き資料のダウンロード	通年				HP で公開
利用促進事業					
①SNS、チラシ、広告による広報	6月	1回		175 箇所	DM 葉書配布
②施設開放イベントの実施	2月	中止			
③地域環境紹介動画の配信	2月	1回		1 件	動画「カヌーで野島を巡ってみた」
体験プログラムの調査研究					
体験プログラム実施校を対象としたアンケート調査		1回		14 校	
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策					
感染症拡大防止対策の実施とHPによる案内、利用者への消毒・体温測定、食堂テーブル用間仕切り・宿泊室用空気清浄機・食堂等除湿器の設置、掲示等によるソーシャルディスタンスの確保					

B-い 青少年を支える人材を育成する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
青少年指導者育成者研修					
青少年指導者育成者研修	4/25	中止			キャンプファイヤー講習
ボランティアの養成					
青少年ボランティア(のじボラ)	6/7、7/5、22、24、 8/2、9/6、10/11、 11/1、1/17、2/14、 3/21	11回		のべ51人	オンライン(12/6 中止)
地域人材の発掘					
ボランティア等活動の受け入れ	9/6、13、20、21、22	9回		のべ35人	

C-ウ 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
体験プログラムの提供					
①施設特性を活かしたプログラムの提供					
手作りプラネタリウム	通年	1回	200円	53人	
②自然環境を活かしたプログラムの提供					
いかだ作り体験	通年	1回	学校300円、一般500円	53人	
カヌー体験	通年	4回	学校800円、一般1,000円	258人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ協力
ビーチグラス	通年	3回	500円	228人	
化石レプリカ	通年	2回	100円	159人	
バードコール	通年	2回	100円	70人	
ビーチコーミング	通年	2回	200円	142人	
公園フォトラリー	通年	4回	無料	316人	
市民活動団体との協働事業の実施					
①海活動体験キャンプ	5/16～17	中止			
②カヌー体験キャンプ	9/26～27	中止			
③秘密基地づくり体験キャンプ	10/24～25	中止			
体験・食育教室の実施					
①カヌー体験教室	9/6、13、20、21、22	5回	小学生2,000円 中学生以上4,000円	16人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ共催
②食育教室	2月	中止			
③親子釣り教室	10/25	2回	無料	24人	公財)横浜市緑の協会主催
④野島チャレンジ教室	3/21	中止			
自然環境保全事業					
オールクリーン野島ビーチ (野島海岸の海浜清掃)	7/18、9/19、3/27 (中止) 11/28	1回	無料	35人	実行委員会主催
困難を抱える青少年のための体験活動支援					
①不登校児童生徒の宿泊体験					
ハートフルスペース宿泊体験	9/10～11	中止			市教育委員会主催
②障がいのある児童・生徒の宿泊体験の実施					
野島クリスマスキャンプ	12/12～12/13	中止			同実行委員会主催
③寄り添い型生活支援事業とつながる児童生徒の宿泊体験					
わくわく生活体験キャンプ	12/27～28	中止			当法人連携事業
地域交流事業					
①地域住民と連携した事業、情報交換会の実施					
地域連携会議	9/24	1回		7人	野島・乙軸打町内会、野島公園
陶芸教室	4/17～19、10/17～18	中止			野島町内会主催
コグニサイズ教室	毎月2回程度 11月から人数制限し再開 1月から3月は中止	4回	500円 ※主催者の収入	109人	野島deコグニサイズ主催
②地域や地域で活動するNPO団体と連携した防災への取り組み					
金沢区災害ボランティアネットワーク定例会への出席	毎月第2土曜日	5回		のべ5人	
近隣町内会合同防災訓練	10/11	中止			
てんでんこ競争(津波避難訓練)	1/10(緊急事態宣言発令により判断)	中止	300円 ※主催者の収入		金沢区災害ボランティアネットワーク主催

主な事業項目の自己評価

体系	項目	自己評価
A あ	施設・設備貸出業務	<p>新型コロナ感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置適用で、施設利用数は前年と比べ大幅縮減となりました。それでも館内消毒作業の徹底、非接触体温計・手消毒アルコールの設置、社会的距離を確保する定員設定、食堂テーブルの飛散防止パネルの設置、客室用空気清浄機設置など感染拡大防止対策を強化し、HPやDMを用いて周知をしたことにより、9月以降の学校利用は回復の兆しを見せ、2021年度学校利用予約は130校を数えるに至りました。結果として年末から急増した感染者により、ほとんどがキャンセルとなりましたが、利用者が安全で効果的に活動できるよう、引き続き、利用回復に向けて取り組みます。</p> <p>宿泊利用：44団体 1,849人、日帰り利用：45団体 716人 事前打合せ会：18回、延べ29団体 体験学習校事前打合せ会：54校</p>
	利用促進事業	<p>新型コロナ感染拡大防止の臨時休館が終了するのに伴い、前年度利用の175団体宛てにDMを送り、利用回復に向けた施設PRを行ないました。</p> <p>また、感染拡大防止の観点から対面での説明や指導に代わり、体験プログラムの準備や手順や入所案内、避難経路案内、野島周辺の環境紹介などの動画をHPで配信するなど、施設の利用に関する情報発信を行うことで、新たな利用者の獲得を目指しました。</p> <p>「入所案内動画」、「避難経路案内動画」等</p>
A お	体験プログラムの調査研究	<p>体験プログラムを実施した学校を対象に、体験プログラムの目的と効果についてのアンケート調査及び検証を行いました。</p> <p>体験プログラム実施校を対象としたアンケート調査：14校</p>
B い	青少年指導者育成者研修	<p>青少年指導者・育成者を対象としたキャンドルファイヤー講習会（4月）は、新型コロナ感染拡大防止の臨時休館もあって中止を判断しました。次年度はオンラインによる講習会も視野に実施します。</p>
	ボランティアの養成	<p>事業や体験プログラムに関わるボランティア活動や研修会を通じて青少年活動を支える人材を養成する取り組みは、新型コロナの影響で提供機会が大幅に縮小しました。</p> <p>それでも高校生以上の青少年を対象とした施設ボランティア「のじボラ」では、オンラインも含め延べ51人が参加し、体験プログラム新規開発等に取り組みました。地域団体のボランティア活動の受入れでは延べ35人の参加があり、コロナ禍という社会状況の中でもボランティアとの関係性をつなぐことができました。</p>
C う	体験プログラムの提供	<p>新型コロナ感染拡大防止に配慮したプログラム準備や手順に修正するなど、安全・安心の活動に向けて工夫をしました。</p> <p>参加者とソーシャルディスタンスを保ち、かつ事前学習として活用できる動画を作成・配信しました。</p> <p>(1) 施設の特性を活かしたプログラム (手作りプラネタリウム) 参加件数：1件 参加人数：53人</p> <p>(2) 自然環境を活かしたプログラム (カヌー・いかだ、ビーチグラス、フォトラリー等) 参加件数：18件 参加人数：1,226人</p> <p>(3) 動画の作成と配信 「ライフジャケットの着方」、「いかだ作り体験の手順」</p>

<p>市民活動団体と協働した体験プログラム</p>	<p>市民活動団体やボランティアと協働した宿泊体験や自然体験活動の提供は、新型コロナ感染拡大防止の観点から宿泊型事業を中止し、日帰り型の自然体験・文化体験教室のみ家族単位で実施しました。</p> <p>(公財)横浜市緑の協会との共催で実施した親子釣り教室は10組24人が参加、カヌー体験教室ではNPO法人横浜金沢カヌークラブと連携し5組16人が参加しました。</p> <p>野島海岸の保全活動は、年4回予定のうち、新型コロナの影響で1回のみの実施となりました。次年度も新型コロナの状況に配慮をしながら、地域団体や市民活動団体と連携し充実した体験プログラムが提供できるよう努めます。</p> <p>(1) 自然体験キャンプ：中止 (2) 自然体験・文化体験教室 実施回数：7回 参加人数：40人 (3) 野島海岸の保全活動 実施回数：1回 参加人数：35人</p>
<p>困難を抱える青少年のための体験活動の支援</p>	<p>困難を抱えていることで体験機会が少なくなっている青少年に、それぞれに応じた体験機会を提供するため、不登校児童生徒を対象とした「ハートフルスペース宿泊体験」(横浜市教育委員会共催)、横浜市立小中学校の個別支援級の児童・生徒を対象とした宿泊体験及び日帰り活動「野島クリスマスキャンプ」(実行委員会共催)、寄り添い支援施設に通う児童・生徒を対象とした「わくわく生活体験キャンプ」(かもん未来塾連携)、近隣中学校3校の個別支援学級の生徒による職業体験を予定しましたが、児童・生徒の新型コロナ感染拡大防止の観点から共催者と共に中止を判断しました。</p>
<p>地域交流事業</p>	<p>青少年や研修センターの活動についての理解を深めてもらうことを目的に、近隣町内会や地域住民と共催した陶芸教室、コグニサイズ教室、そして、金沢区民が運営するてんでんこプロジェクトと連携した防災啓発事業を予定していましたが、コロナ禍で多くが中止となりました。こうした状況でも地域や団体と交流ができたことは、次年度以降の地域や団体との協力関係に維持につながると考えています。</p> <p>(1) 地域連携会議：1回 出席者数：7人 (2) 陶芸教室：中止 (3) コグニサイズ教室：4回 参加者数：延べ109人 (4) 金沢区災害ボランティアネットワーク定例会：5回 (5) 近隣町内会合同防災訓練：中止 (6) てんでんこ競争(津波避難訓練)：中止</p>

2020年度 「野島青少年研修センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	78,427,000		78,427,000	78,427,000	0	横浜市より 目的外使用料・目的外使用分電気代除く
利用料金収入	15,300,000		15,300,000	1,256,200	14,043,800	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	5,450,000		5,450,000	559,120	4,890,880	
自主事業収入	100,000		100,000	0	100,000	法人寄附金
雑入	500,000	0	500,000	2,366,661	△ 1,866,661	
印刷代	20,000		20,000	1,850	18,150	
自動販売機手数料	400,000		400,000	96,691	303,309	自販機、売店賃料、電気料金含む
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (ランドリー収入等)	80,000		80,000	2,268,120	△ 2,188,120	市コロナ負担金含む
収入合計	99,777,000	0	99,777,000	82,608,981	17,168,019	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,868,000	0	34,868,000	34,289,690	578,310	(施設連携事業費含む)
給与・賃金	28,367,000		28,367,000	26,817,313	1,549,687	(施設連携事業費1,000,000.-含む)
社会保険料	4,939,000		4,939,000	4,265,357	673,643	
通勤手当	1,100,000		1,100,000	1,050,500	49,500	
健康診断費	70,000		70,000	57,637	12,363	
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000	34,000	8,000	
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	2,064,883	△ 1,714,883	
事務費	3,007,000	0	3,007,000	3,960,844	△ 953,844	(施設連携事業費含む)
旅費	0		0	41,940	△ 41,940	
消耗品費	2,015,000		2,015,000	2,531,807	△ 516,807	利用者用トイレトーパーパー、洗剤、蛍光灯等の施設管理消耗品を含む (施設連携事業費121,000.-含む)
会議ठीい費	0		0	0	0	
印刷製本費	160,000		160,000	82,500	77,500	
通信費	52,000		52,000	354,010	△ 302,010	(施設連携事業費196,588.-含む)
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	275,358	24,642	
横浜市への支払分	300,000		300,000	275,358	24,642	目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	255,361	△ 155,361	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000	170,840	9,160	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	0		0	24,200	△ 24,200	(施設連携事業費660.-含む)
リース料	200,000		200,000	224,388	△ 24,388	コピー機リース料
手数料	0		0	440	△ 440	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	5,405,000	0	5,405,000	3,938,739	1,466,261	(施設連携事業費含む)
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	5,305,000		5,305,000	3,938,739	1,366,261	(施設連携事業費267,260.-含む)
自主事業費	100,000		100,000	0	100,000	野島クリスマスキャンプ負担金(中止)
管理費	52,185,000	0	52,185,000	35,397,328	16,787,672	
光熱水費	16,426,000	0	16,426,000	6,028,310	10,397,690	
電気料金	7,576,000		7,576,000	3,868,057	3,707,943	目的外使用分電気代除く
ガス料金	4,450,000		4,450,000	1,370,551	3,079,449	
水道料金	4,400,000		4,400,000	789,702	3,610,298	
清掃費	11,200,000		11,200,000	8,811,337	2,388,663	
修繕費	3,000,000		3,000,000	2,811,556	188,444	
機械警備費	250,000		250,000	224,400	25,600	
設備保全費	13,307,000	0	13,307,000	10,398,960	2,908,040	
空調衛生設備保守	2,600,000		2,600,000	2,332,440	267,560	
消防設備保守	350,000		350,000	286,000	64,000	
電気設備保守	7,397,000		7,397,000	5,910,520	1,486,480	
害虫駆除清掃保守	260,000		260,000	192,500	67,500	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	2,700,000		2,700,000	1,677,500	1,022,500	ボイラー、自家発電、ろ過器、冷水器、中央監視盤、エレベーター ほか
共益費	8,002,000		8,002,000	7,122,765	879,235	ゴミ処理委託、リネン、マット交換 ほか
公租公課	4,237,000	0	4,237,000	4,545,000	△ 308,000	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	4,237,000		4,237,000	4,500,000	△ 263,000	
印紙税	0		0	41,000	△ 41,000	
その他 ()	0		0	4,000	△ 4,000	自動車税
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	75,000	0	75,000	165,122	△ 90,122	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	75,000		75,000	165,122	△ 90,122	社労士、税理士謝金ほか
二一ズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	99,777,000	0	99,777,000	82,296,723	17,480,277	
差引	0	0	0	312,258	△ 312,258	

自主事業費収入	5,550,000			0	
自主事業費支出	5,405,000			0	
自主事業収支	145,000			0	

管理許可・目的外使用許可収入	500,000			96,691	
管理許可・目的外使用許可支出	300,000			275,358	
管理許可・目的外使用許可収支	200,000			△ 178,667	